

研究報告書目次

目 次

I. 総括研究報告

- 東京地下鉄サリン事件等における救護・医療対応記録の保存・活用に向けた
実証研究 ----- 1
奥村 徹
(資料1) アーカイブ事業化における法的問題整理
(資料2) サリン事件アーカイブ事業仕様書案

II. 分担研究報告

1. サリン事件アーカイブ化の意義に関する研究 ----- 14
前川和彦
2. 東京地下鉄サリン事件におけるカルテの保存に関する研究 ----- 17
石松伸一
3. 松本サリン事件におけるカルテの保存に関する研究 ----- 18
森田 洋
4. 松本・東京地下鉄サリン事件の医学的影響の長期フォローに必要な
調査項目についての研究 ----- 20
山末英典
(資料) 表1 サリン事件被害者の健康状態についての長期的な調査結果の
研究報告リスト
表2 調査項目のリスト
5. 松本・東京地下鉄両サリン事件に対する市民の意識に関する研究 ----- 24
横山和仁
(資料) 表1 回答者の属性
表2 サリン事件を知っているか
表3 知り合いに被害者がいるか
表4 事件の資料保存に対する考え
表5 両サリン事件のアーカイブの役割についての意見
表6 保存する資料・記録等についての考え
表7 アーカイブに対して提供できる資料・記録等の有無
表8 公開範囲についての自由記載
表9 両事件の資料・記録等を公的機関が収集・保管する根拠となる
法律の制定に対する考え
6. アーカイブ化が新たな知見を生み出せるかについての研究 (解析1) ----- 33
那須民江
(資料) 図1 最初に自覚症状を感じた時刻 図2 神経剤の温度と飽和蒸気圧の関係 図3 吹出近傍におけるガス濃度分布の比較 図4.1 計算領域
図4.2 計算モデル形状 図4.3 計算格子形状 図5 風速条件の変化 図6 ガス濃度分布の時刻歴変化 図7 ガス濃度分布の時刻歴変化
図8 ガス濃度の時刻歴変化 図9 ガス放出から時間経過による曝露量分布 表1 ガスの放出条件 表2.1 サリン物性値 表2.2 サリン物性値の抜粋一覧
表3 サリンガスの物性値と放出量 表4 松本観測所の気象データ 表5 各地区の最高濃度と到達時間 表6 曝露量毎の領域広さ(面積, 範囲)
表7 曝露量と人体への影響の関係表8 消防局職員のサリン中毒調査
7. アーカイブ化が新たな知見を生み出せるかについての研究 (解析2) ----- 73
那須民江
(資料) 図1.1 計算領域図 1.2 計算モデル形状 図1.3 計算格子形状 図2 自覚症状の発生状況 図3 風速条件の変化 図4.1 ガス濃度分布の時刻歴変化
図4 ガス濃度分布の時刻歴変化 図5 ガス濃度分布の時刻歴変化 拡大図 図6 ガス濃度の時刻歴変化 図7 ガス放出から時間ごとの曝露量分布
表1 松本観測所の気象データ 表2 各地区の最高濃度と到達時間 表3 曝露量毎の領域広さ(面積, 範囲) 表4 曝露量と人体への影響の関係
添付資料1 ガス拡散シミュレーション 蒸発条件検討のためのシミュレーション スの残存量をパラメータとしたシミュレーション 残存量:10%, 5%, 1%の比較 蒸発時間:2時間固定
添付資料2 蒸発時間をパラメータとしたシミュレーション 蒸発時間:1時間, 2時間, 3時間, 4時間の比較 残存量:10%固定

III. 研究成果の刊行に関する一覧表

----- 146